

# 令和5年度 学校努力点について

名古屋市立はとり中学校

## 1 はとり中学校の教育目標

- 礼儀を重んじ、「思いやりの心」をもち、自主的に行動できる生徒の育成
- 常に現実を見つめ、創意工夫して環境の改善をし、社会に適応できる生徒の育成
- 勤労を尊び、忍耐力と責任感を身に付け、社会に貢献できる生徒の育成

## 2 学校努力点の設定について

校訓

豊かさ たくましさ

### (1) 努力点

#### **心豊かな生徒の育成 ～自ら考え、交流する活動を通して～**

### (2) 努力点設定の理由

#### ① これまでの本校の取り組み

本校では、平成30年度から令和2年度まで「心豊かな生徒の育成」を学校努力点として、「教科の授業」「道徳の時間」「学校行事」の三つの場面において、他者との関わりを意図的に設定して実践を進めてきた。主に「道徳の時間」に焦点を当て、全校で「人との関わり方を考える道徳の授業」に取り組み、構成的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングの要素を取り入れた授業を定期的に行った。また、他者の立場や気持ちを推論する場面を設けて、二者択一を始めとする判断や判断理由を考えたり、共有したりする活動を位置付けて、道徳的態度や判断力を高めることを目指した。そして、「教科の授業」についても、「授業力向上期間」を設定し、主に話し合いが行われる授業を教員が相互に参観して、手立てや工夫を交流した。

#### ② はとり中ブロックの3小学校の取り組み

3小学校では、「丁寧に聞く」傾聴の態度を身に付けること、「話す・聞く」力を育成すること、子どもが進んで考えるようになることを共通のねらいとして実践に取り組んでいる。小中学校の指導の継続性を図り、さらに発展させる必要がある。

#### ③ これまでの成果と課題

多くの生徒は、規則やルールを守り、どの行事にも熱心に取り組むことができた。また、落ち着いて授業に臨み、自分の考えを他者に伝えたり、他者の意見を参考にしたりする姿が見られた。教員と生徒との信頼関係も築きつつある。

しかし、教員から指示されたことや教えられたことをきちんと受け入れようとする素直さがある反面、生徒自身が考え、意見を出し合いながら練り上げ、進めていくような自主性や主体性が十分に育っているとは言えない。また、集団生活において、自分の言動によって他者がどのような気持ちになるかを十分に考えず、トラブルを引き起こすケースも依然として見られる。

